

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議  
平成27年度第1回中小企業支援専門部会（要旨）

1 日 時 平成27年4月21日（火）15:00～16:30

2 場 所 県民会館401

3 説明事項

- (1) 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例の改正について
- (2) 平成27年度富山県中小企業振興施策等について
- (3) 富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクトの概要・スケジュール（案）について
- (4) 「地域創生人材育成事業」にかかる本県提案の採択について

4 委員からの主な意見

【中小企業への支援について】

・研究開発の補助金は、2/3 補助されるが 1/3 は事業者の負担であり、なかなか資金を捻出できないのが現状である。資金の捻出方法・調達手段についても支援をお願いしたい。

・国の施策の情報提供は、会員企業が申請するにも準備が必要なので、できるだけ早めに行っていただきたい。

・企業立地の助成制度はありがたい制度ではあるが、工場の自動化を進めると省人化を伴う場合が多いので、雇用数の要件を見直してほしい。

・化学工業会は上場企業の地域工場が中心となって構成されている。いかにこの地域で新製品を売り出して、新しい工場や新しい原材料調達先を地域企業と作りあげていくのが重要。研究開発段階から地域企業との積極的なコラボレーション、共同研究開発の支援をいただくことが一番ありがたい。

・ファッションで町興しができればいい。富山発のファッションがあってもいい。若い人が自分の夢を実現できる店舗があれば、給料が低くても生きがいを感じるのではないかと。「まちの逸品」事業は「お土産」を対象にしているが、拡大解釈して、ファッションでもいいという考え方で支援してほしい。

#### 【人材育成・確保について】

- ・金型業界では、簡単なものは海外で生産し、難しいものを国内で生産している。難しい注文にも対応できるようにするための、人材育成・人材確保が課題である。
- ・人材育成については、技術の継承を進めるとともに、商品開発・マーケティング等の面白さを含めた繊維業界の魅力を若い世代に伝えていきたいと考えている。
- ・県西部での大型ショッピングセンターの進出について、小規模企業者は脅威だと感じている。人材確保面についても、ますます難しくなるのではないかと感じている事業者がいる。
- ・県内企業処遇改善支援事業（雇用交付金）を受託した企業から依頼を受けて現場指導を行っている。企業にとって外部指導者の招聘にかかる費用の後押しが非常に大きいので、是非続けてほしい。

#### 【地方創生について】

- ・地方創生関連の国・県の取り組みに関して、協力していきたい。例えば、産業集積への対応として、中核企業への融資制度を創設した。
- ・富山経済同友会の地域活性化委員会では、今年度から2年間、人口減少問題を取り上げて、解決策を検討していく。若者にとって魅力ある職場づくり、ニュービジネスの創出支援による雇用の拡大等、雇用の確保が重要となってくるので、県の事業に対して協力していきたい。

#### 【消費税増税について】

- ・中小企業家同友会の調査では、約6割が影響ありと回答し、約4割が消費税増税分を十分に価格転嫁できていないと回答している。

#### 【その他各業界の状況等について】

- ・アルミはリサイクル性に優れた素材であり、製品の1/2は再生地金を使用している。しかし、最近では人材確保難、海外の安価な製品とのコスト競争により、この循環型の構造に影響が出てきている。二次合金精製の技術革新と人材確保が課題である。
- ・北陸は繊維が強いといわれるが、富山の繊維産業は石川、福井に水をあけられているように感じる。石川、福井は異業種との連携が盛んである。

・本県の繊維産業は、委託生産（材料加工）が主であり、最終製品の取扱いが少ないのが弱みである。自主企画型・提案型営業、最終製品化を進めていきたい。医薬工連携やナノテクとの連携にも興味がある。

・空き店舗対策は真剣に心配すべき事項であるが、思ったようにいかない。共同店舗を作って20年以上が経過しており、個店経営者の高齢化が進んでいる。後継者が見つからないほか、従業員が確保できないために、撤退する個店もある。

・北陸三県の貸出金の増加は、全国平均並みであるが、富山県は北陸三県のなかではいちばん高い伸びである。県内では、製造業の貸出金の伸びが高い。円安のデメリットが多い業種への貸出は増えていない。新幹線開業に伴い、サービス業はもう少し伸びると予想していたが、予想を下回っている。飲食店関係は小口の貸出が増えているが、大きな設備関係の貸出があまりない。

・県内の景況感としては、全体としては悪くないが、力強さがない。円安で、輸入卸や輸入に依存しているところは大変だと聞いている。製造業は比較的堅調である。設備投資はぼちぼちといったところ。新幹線開業関連の資金需要は、予想よりも少なかった。消費税増税関連の動きも今のところ目立った動きはない。

・産業機械の分野は順調に回復しているが、建材部門は住宅着工の減により厳しい。